

令和5年10月10日

# めいりん

明倫小学校 学校だより 第19号  
 学習方法創意工夫号 校長 武久隆弘  
 笑顔あふれる、学校生活！！



## 学力面の強みと弱みを把握しよう！！

### ～令和5年度 全国学力・学習状況調査より～

「令和5年度 全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省から公表されました。この調査は、4月18日に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として、「国語」「算数（数学）」「英語（中学校のみ）」の教科に関する問題と、児童の生活習慣や学習習慣についての「児童質問紙」から成り立つもので、本校6年生の結果は次の通りでした。

**児童・学校質問紙関係は、後日掲載させていただきます。**

#### 1 教科（国語・算数・理科）に関する調査の分析について 【各教科の平均正答率】

問題（設問）は、文部科学省のHPに掲載されています。

平成30年度まで、国語・算数ともに「基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうか」をみるA問題、「基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうか」をみるB問題に分かれて実施されましたが、令和元年度より、一体的に問う形式で出題されるようになっていきます。

平均正答率	国語	算数
本校	62	58
三重県	67	62
全国	67.2	62.5

今年度、本校の平均正答率は、国語・算数ともに全国・県平均正答率を下回っています。領域で見たときの強みと弱みは、明倫小のどの学年においても共通に見られ、これら弱みの克服が、学校全体における学力向上への課題となっています。算数の結果を受け、習熟度で授業を行うことにした6年生をはじめ、各学年で学習方法を創意工夫して、学力向上に繋げていきたいと思えます。

#### ＜教科別の成果と課題＞（抜粋）

【◎＝全国平均値比、正答率が高い領域】    【○＝平均的な領域】    【●＝低い領域】

#### （1）国語 【本校の正答率（全国の正答率）】 【設問番号】

【領域】 ●言葉の特徴や使い方に関する事項 64.9% (71.2%)

○情報の使い方に関する事項 62.2% (63.4%)

○話すこと・聞くこと 73.0% (72.6%)

●書くこと 13.5% (26.7%) … **全国平均値比、一番苦手な領域**

●読むこと 64.0% (71.2%)



#### 【出題の趣旨別】

●【1二】図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。13.5% (26.7%)

◎【1四】文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる。  
83.8% (79.8%)

●【2二】目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。45.9% (67.4%) … **全国平均値比、苦手度大**

◎【3-(2)】必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる。81.1% (74.0%)

- 【3二】目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- 【3三】日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。37.8% (57.6%)

【国語・今後の学校としての取り組み】

- ・知識や技能の学習内容の定着を図る取り組みの成果が向上できるように、さらに基礎基本に根差した学習を、今後も継続していきます。
- ・話の内容が明確になるように、事実と感想を区別してスピーチの構成を考えたり、自分の考えが伝わるように資料を活用したりして話す活動に取り組んでいきます。
- ・作文や日記など、日頃から文章を書く機会を増やし、書く力・文章力の向上を図る活動に取り組んでいきます。

(2) 算 数

【本校の正答率 (全国の正答率)】

【設問番号】

【領域】 ●数と計算	61.7% (67.3%)	…	全国平均値比、一番苦手な領域
○図形	45.3% (48.2%)		
●変化と関係	66.2% (70.9%)	○データの活用	64.9% (65.5%)



【出題の趣旨別】

- 【1 (3)】伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。45.9% (55.5%)
- ◎【1 (4)】一の位が0の二つの二位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる。83.8% (80.8%)
- 【3 (2)】示された日常生活の場面を解釈し、少数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる。45.9% (56.7%)
- 【3 (4)】(二位数) ÷ (一位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考察することができるかどうかをみる。27.0% (47.6%) … 全国平均値比、苦手度大
- 【4 (1)】百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる。  
37.8% (46.0%)
- ◎【4 (2)】「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる。81.1% (75.7%)

【今後の学校としての取り組み】

- ・数量の関係を捉えることの基礎基本を押さえることができるようにするため、今後も知識・技能の定着を図るための取り組みを、地道に行っていきます。
- ・日常生活で出会う様々な問題場面において、問題を解決するために、必要な数量を選択し、その求め方と答えを式や言葉を用いて記述する学習活動を取り入れます。



- ・具体的な手立ての一つとして、9月から6年生で算数の授業を「習熟度別」で行い、算数に対する苦手意識の克服と基礎基本の定着を図る取り組みを始めました。

